

実施報告

実施日

2022年1月20日(木) 午前の部

参加校

83人の児童の皆さんに参加いただきました!

- 【北海道】 旭川市立北光小学校 5年生 33人
- 【東京都】 渋谷区立西原小学校 5年生 26人
- 【山口県】 山口市立興進小学校 6年生 24人



アンケートより

学んだこと

- ・アップとルーズで情報の量や感じ方がちがうことが分かった。
- ・「加工はどのくらいまで」の基準が(人によって)ちがったりする。
- ・テレビの編集は、目的に合わせて編集していることが分かりました。
- ・メディアでは最大限、よく伝えるように工夫しているのだなと改めて思った。

参加した感想

- ・ほかの学校の人の話や意見を聞いたのは初めてで、聞いていて楽しかった。
- ・いろんな人の意見が聞けて、自分の意見を見直せたりできたのでよかったです。
- ・ほかの学校と一緒に勉強すると、考え方がちがって聞くのも発表するのも楽しかったです。

これから生かそうと思うこと

- ・(受け手として)「見えていないだけで本当はもっとたくさんある」など色々な可能性を考えること。
- ・これらになにかを送る側になった時に、本当にこれは良いのか確認したい。
- ・いろいろな人の意見を聞くことを生かしていこうと思います。
- ・テレビで放送されているインタビューは、(映像を)全て使っていないくて、編集した人のねらいや思いがこめられているから、それを気にしながらテレビを見てみようかなと思いました。
- ・またどこかをしょうかいする授業があったらアップとルーズを考えて写真を見せたいです。

参加校の先生より

- ・子どもたちも、「とても楽しかった。」「すごく頭を使ったけど、よく分かった。」「他の地域の子と交流することができてうれしかった。」「と大満足の様子でした。今回の学習を踏まえ、今後の自分たちのメディアとの付き合い方を討議して決める「情報活用宣言」づくりをします。
- ・この時期の実施で、総合としての学習だけでなく、社会科の情報の学習や国語科の「想像力のスイッチを入れよう」という情報についての説明文の学習とも関連付けられ、カリキュラムマネジメントとしても有効であったと思います。
- ・他校の様子に「昔から知っている友達みたい」と親近感を覚える子もいました。人とのつながりが自分の成長につながる、人とのつながりが温かい、そのような感覚も得ることができました。



実施報告

実施日

2022年1月20日(木) 午後の部

参加校

45人の児童の皆さんに参加いただきました!

【東京都】 渋谷区立西原小学校 5年生 25人

【山口県】 山口市立興進小学校 5年生 14人

【鹿児島県】 南さつま市立内山田小学校 5・6年生 6人

アンケートより

学んだこと

- ・情報が切りとられていることを知ってきちんと想像を広げることが大切だと思った。
- ・(画像)加工にはふさわしくない場合もある。
- ・(情報の)受け手と送り手で気をつけることがあると知りました。

参加した感想

- ・ほかの学校と一緒にやって同じ課題が出されたのに、学校によって結果がちがひ、やっていてとても楽しかったです。
- ・ほかの学校の人たちとつながれて、都会の人は少しかたいイメージがあったけど話したらとてもおもしろかった。
- ・遠くの人とつながって交流できて、いろいろな考え方が分かり勉強になりました。

これから生かそうと思うこと

- ・写真などは加工している場合があるから、正しい判断ができるようにしていきたい。
- ・(メディアを)見る時、送り手の考えを想像しようと思った。
- ・その人が求めている物や、目的に応じ加工をしたり、アップとルーズを使い分けたりしていきたい。
- ・全部の情報をそのまま受け取るのではなくよく考えてから受け取る。
- ・ほかの人の意見をたくさん聞いたので、いろいろな考え方がふえました。これからは、他の考え方もないかな、と考えたいです。

参加校の先生より

- ・事前学習(町のケーキ屋さんの魅力紹介、学校紹介)を行うことで、画像のねらいをよく考えて選択することや学校紹介における原稿と画像を効果的に組み合わせること等を話し合い、課題意識を高めることができました。
- ・各学校で、話し合いをする時間が設けてあるのがとてもよかったです。自他の理解が未熟な部分を補完し合うことができ、本教室のねらいに迫る考え方を深められました。
- ・同じ課題に対し、地域差、学校差があること。その差には理由があること。情報には作り手の意図があること。捨てられた情報の存在。このような多くの学びを子ども達はふりかえりに書いていました。
- ・他校の考えに対する意見を伝える活動は、めったにない他校との交流となり、良い機会になりました。児童の感想からも他校の小学生の意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることが有用であったことが感じられました。



進行役・大橋拓アナウンサーより

(午前・午後の部を通して)

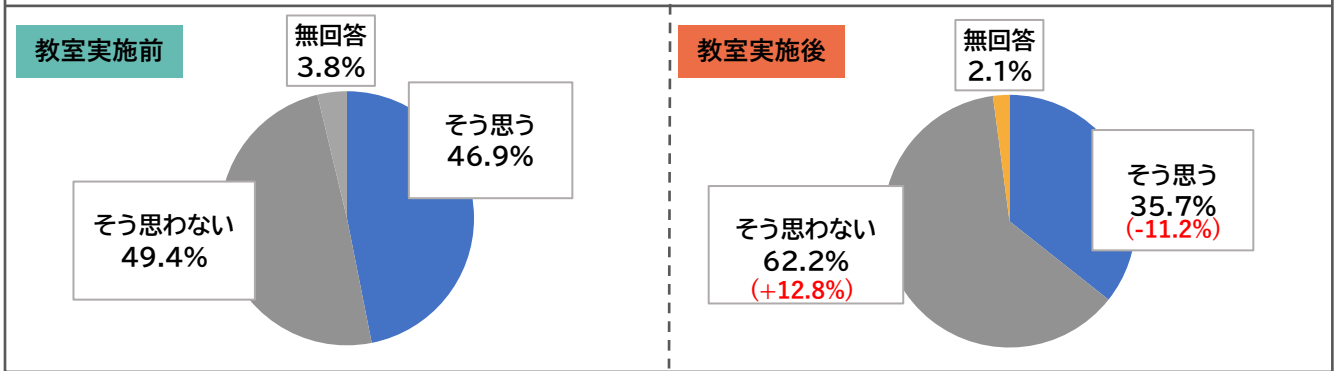
この教室を担当していて、ときどきドキッとするのが「テレビだから面白いほうがいい」といった言葉。「あ、そういう風に思われているんだな」と感じる瞬間です。送り手として、安易な表現になっていないか反省しつつ、いろんな番組があるし、ひとつに決めつけず、いろんな見方があっていいんだよ、ということ子どもたちと一緒に考えています。今回は3校での実施になりましたが、じっくり議論を深めることができました。



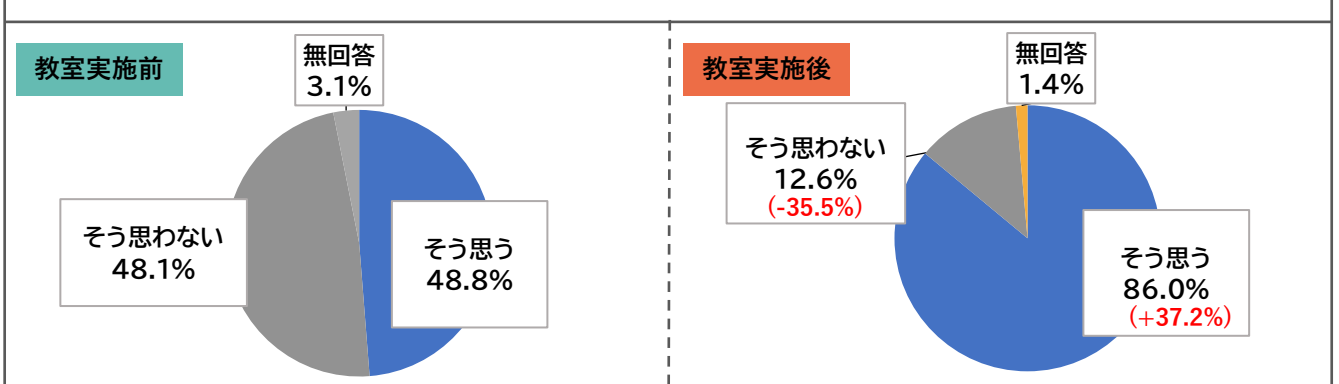
参加児童へのアンケート結果

(赤字は教室実施前との増減)

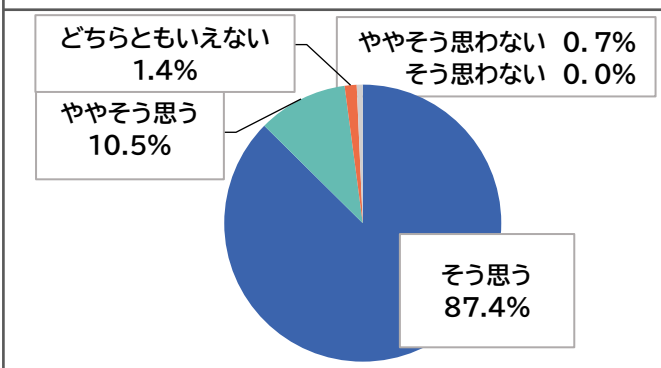
テレビ番組や動画コンテンツなどでインタビュー映像が使われる時は、かたよった印象を与えないように賛成意見と反対意見が同じ数だけ紹介されている。



観光パンフレットの写真は加工されている場合がある。



「つながる! NHKメディア・リテラシー教室」に参加してみて、楽しかったですか。



他の学校と一緒に取り組むことで、色々な考えにふれることができましたか。

